

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年11月5日

【事業所概要(事業所記入)】

| | |
|---------|--|
| 事業所番号 | 4670103763 |
| 法人名 | 医療法人 三州会 |
| 事業所名 | グループホーム せせらぎ |
| 所在地 | 鹿児島県鹿児島市真砂本町3番92号 (電話) 099-254-6407 |
| 自己評価作成日 | 平成27年5月29日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46 |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|------------------------------|
| 評価機関名 | NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構 |
| 所在地 | 鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号 |
| 訪問調査日 | 平成27年10月7日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ①尊厳を持って生活ができる環境を基本に考えています。
- ②個々のその日の身体面や心理面を見極めながら活動や休息のバランスを考え生活リズムを調整したケアに取り組んでいます。
- ③利用者に対する接遇にも重視し自尊心に配慮した対応を心掛けています。
- ④人材育成に取り組み、内・外の研修参加や実習生の受け入れも積極的に行い職員の意識向上に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は母体医療機関や老人保健施設と隣接しており、定期受診や緊急時の24時間医療連携体制が整備されている。同一建物内に院内保育所や小規模多機能ホームも併設されており、日常的な交流が行われている。
- ・地域行事への参加や職員の公民館での講師及び毎月の清掃活動を継続して行っている。ボランティアや学生及び研修生の実習受け入れを年間を通して行っており、開かれた事業所として情報の発信及び地域との交流に積極的に取り組んでいる。
- ・利用者一人ひとりの状態に応じて車椅子での外出や食べたいものを見つけるなど、利用者の気持ちに沿って工夫しながら職員全体でケアに当たっている。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている | ミーティングで朝の申し送りには全員で唱和をし確認し合う。各自ネームの中に入れて日々の利用者との関わりの際、理念が反映されるように意識づけしている。 | 2ユニット合同の申し送り時に、日々理念を唱和している。職員のネームにも理念が掲載されており、随時確認しながらケアに取り組んでいる。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 散歩や買い物に出掛け挨拶を交わしたり話をしている。月1/回地域での清掃作業を行っている地域での行事は声をかけて下さり参加している。 | 地域の夏祭りや運動会に参加したり、近隣の散歩や買い物で住民と挨拶を交わしている。職員は公民館での講師や清掃活動等を行う等、地域との交流を行っている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。 | 地域住民のホーム体験の場や民生委員・老人会代表の方から意見を聞く機会を作っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 4 | 3 | <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>事業所からの報告を行い、参加者の質問・意見・要望の場を持ち、地域の理解や支援を得る機会としてサービスの向上に活かしている。</p> | <p>会議は定期的開催している。ホームからの報告の他、地域の方も出席して、地域の行事や高齢者等の情報を聞いたりして意見交換を行い支援に活かしている。</p> | |
| 5 | 4 | <p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p> | <p>事業を進めていく中で生じる運営やサービスの課題についてその都度相談している。</p> | <p>市の担当者とは、報告や運営上の相談などで連絡等をこまめに行って日頃から連携に努めている。地域包括支援センター職員とは、事例に関する件や困難事例等の相談をしている。</p> | |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | <p>身体拘束改善廃止委員会での話し合い・検討を行い、身体拘束はいかなる場合も行わない事を基本に取り組みや工夫をした支援を心掛けている。月1回の話し合いをしている</p> | <p>年間計画を立てて身体拘束に関する研修会を実施し、身体拘束に該当する事例について研鑽している。ことばの拘束については気付いた時に注意している。日中の玄関の施錠はせずに職員が目配りで自由な生活ができるよう取り組んでいる。</p> | |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている</p> | <p>年間計画、研修の中で学ぶ機会を持ち、又ミーティングや勉強会においても理解を深めるようにしている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。 | 対応が必要と認められる利用者には関係機関への支援を行っている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 契約書と重要事項説明書の読み合わせをしながら、その都度質問や疑問点を伺い納得のいく説明を行っている。利用料金や加算についても詳しく説明を行っている。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 家族の会での意見要望や意見箱の設置、連絡帳の設置等により出された意見は運営に反映させるようにしている。 | 利用者とは日々の生活の中で思いを聞いている。家族からは面会時に職員から声かけして状況説明を行うと共に要望等を聞いている。連絡帳を各居室に設置したり、家族会で、家族だけで話し合う時間を設け、出された意見等は運営に反映させている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p> | <p>毎日のミーティング、月1/回のカンファレンス、必要時個別面談の機会を持ちその都度意見を聞いている。</p> | <p>毎月の合同カンファレンスでは、職員一人ひとりの意見を聞いたり、困難事例等についても意見を出し合っている。利用者の高齢化・重度化に伴いリクライニングのシャワーチェアを職員が提案し、購入予定となっている。個別相談は主任が主に対応している。</p> | |
| 12 | | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p> | <p>自己実現のための目標管理カードを作成し1年に1回結果を評価し、各自が向上心を持って働ける条件に努めている。</p> | | |
| 13 | | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>事業所内での研修計画に沿っての学習や施設外の研修の参加を行い。カンファレンス時には、個々の要望を聞きアドバイスの場としている。</p> | | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>連絡会を通じての研修や意見交換の場に参加して質の向上に取り組んでいる。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | <p>事前面談で生活状態や本人の状態を把握している。直接本人に会って話を聴きながら本人の思いを受け止めるように努めている。</p> | | |
| 16 | | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p> | <p>ご家族の求めているものを理解し対応につなげるように努めている。話を十分に聴く機会を持つようにしている。</p> | | |
| 17 | | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>相談時本人・家族の思いを状況を見極めながら必要と思われるサービスの調整等も含めて対応している。</p> | | |
| 18 | | <p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p> | <p>支援する側される側という意識を持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができる場面作りや声かけをしている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 面会時又は連絡ノートや電話等により状況報告をその都度お伝えしている。要望等を聞くように努めている。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 地域交流の機会には知人友人とのふれ合う場となるよう働きかけている。1人ひとりの生活習慣を尊重しながら電話等の連絡を取り持つ等支援している。 | 知人や友人・親戚の面会時には、個室で面会をしたり、居室でゆっくりしてもらえるような環境作りに努めている。訪問美容師の受け入れや家族と馴染みの美容院に出かけたり、定期的に墓参りを継続することでこれまでの生活習慣を大切にして馴染みの関係が途切れないよう支援している。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | みんなで楽しく過ごす時間や気の合う方同士で過ごせる場面作りを行っている。心身の状態や気分、感情で日々変化することもあるので注意深く見守っている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 契約終了後も電話等で話をする機会を持ったり、ホームに立ち寄って頂くお誘いをしたり、関係を大切にするように心がけている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 日々の関わりの中から本人の言動・行動・表情等から汲み取り把握している。家族や関係者からの情報も得ながらアプローチを行っている。 | 入居時のアセスメントを参考に、毎日の動き等を観察して会話や仕草・表情等から本人の思いを把握するように努めている。得られた情報を記録して職員間で共有している。意思表示のできない利用者には、家族や関係者等から情報を得て、職員全員で話し合い本人中心の支援を行っている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 本人自身の語りの中から家族・知人等の関係の方からの話や情報を得ながら把握に努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 利用者一人ひとりの生活リズムを把握しながら行動や動作からも感じとり心理面等を見極め全体の把握に努めている。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ご本人・家族の要望、意見を取り入れて1人ひとりのその時点に沿った具体的内容を取り入れモニタリングやカンファレンスを行い、利用者主体の生活を反映した計画を心掛けている。 | 本人及び家族の要望等を聞いて、職員による検討会を実施し介護計画を作成している。面会時に家族から意見や要望を聞きケアプランに活かしている。毎月担当職員が経過をまとめ、3～6ヶ月に1回、モニタリングを実施し必要時は見直している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 行動記録や個別に各自チェック表を用いて記録している。職員の気づきや利用者の状態変化等、職員間の情報共有に努めている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 日々変化する状況や体調面の変化等に必要時に必要な支援を行い本人・家族の要望に応じている。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 利用者が安心して地域で暮らせるように民生委員、消防署等と連絡を取り協力を呼びかけている。ボランティアへの協力もお願いしている。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ご本人・家族の要望するかかりつけ医となっている。ご家族の協力で受診を行うこともあるが、同行不可能な場合や急変時は職員で代行する。入所時の契約時、同意を得ている。 | 本人及び家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。毎月の定期受診はホームで対応している。協力医療機関とは24時間医療連携体制が整っている。他科受診に関しては、家族の同行を依頼しているが、できない場合は職員で対応している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>看護職員を配置していて、常に健康管理や症状の応じて速やかに対応している。医療連携体制をとっている。</p> | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>入院時は適宜面会し、主治医との連絡を密にして家族への説明を行うようにしている。退院計画に沿いながら回復状況を見守り退院支援に結びつけている。</p> | | |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>重度化に伴う意思確認書を作成し、事業所が対応し得るケアについて説明を行い、状態に応じて家族や本人の思いに叶える対応・方針をその都度話合うようにしている。</p> | <p>契約時に指針に基づいて重度化等の場合の対応を説明し、意思確認書を作成している。重度化にともない再度医師から説明し、家族等の意思を確認しながら要望に沿って対応している。看取り介護についての職員研修計画がある。</p> | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>急変時の対応については年1回、日赤の協力を得て救急手当や蘇生術の研修を実施している。緊急時対応についてはマニュアルを用いて周知徹底を図っている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>マニュアルを作成し消防署の協力を得て年2回、利用者とともに避難訓練を行っている。地域の自衛消防員の方にも協力をお願いしている。</p> | <p>避難訓練を法人全体で消防署の立ち会いのもと昼夜間想定で年2回実施している。年1回は、地域の自衛消防員や民生委員の参加を得て行っている。法人全体からの協力体制も築かれている。スプリンクラーが設置され、災害時の水や食糧など、法人全体で備蓄を行っている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | <p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p> | <p>勉強会やミーティング、又は折に触れ職員の意識向上を図るとともに、利用者のプライバシーや誇りを損ねない対応を話し合っている。まずは本人の気持ちを大切に考えた言葉かけに努めている。</p> | <p>日頃から誇りやプライバシーを損ねない対応について話し合っており、失禁時等はさりげない声かけで対応し、他者に気づかれないよう配慮したケアを実施している。オムツ交換時は自室で行い、本人への言葉かけについては苗字で呼ぶように配慮している。</p> | |
| 37 | | <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p> | <p>職員側の決めたことを押し付けないように日々の生活の中から本人の関心、嗜好を見極め要望が叶えるような支援を心がけている。</p> | | |
| 38 | | <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>基本的な1日の流れはあるが、時間に沿った過ごし方ではなく体調、気分に応じて1人ひとりの状態や思いに配慮しながら対応している。</p> | | |
| 39 | | <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p> | <p>ご本人・家族からの好みや希望にそえるように個々の個性、希望におうじた対応になるように支援している。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | <p>利用者の好みや形態をふまえてメニューを作成している。個々の力に応じて買い物や手伝いを一緒に行っている。必ず1人は職員も一緒に食べるようにしている。</p> | <p>職員と一緒に食事の準備や下膳を個々の力量に応じて行っている。自分で食べられるように食事形態を工夫している。数種類の飲み物も準備している。行事食や誕生日のケーキ・外食・弁当持参の花見等へ出かけている。家族へ参加の声かけをしている。食事介助のケアが必要な場合や流動食の利用者がいるので座席にも配慮している。</p> | |
| 41 | | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> | <p>水分量は基本的に1000+αとしているが、個々に応じている水分量や本人の好みに応じた飲み物も楽しめるように工夫している。</p> | | |
| 42 | | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p> | <p>毎食後の歯磨きの声かけや個々に応じたケア方法を実施している。ハミングットの使用やガーゼ等による口腔内の清潔、義歯洗浄等行っている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 本人の排泄パターンに合わせて時間毎のトイレ誘導、声かけを行い昼間のオムツ使用はできるだけしないようにしている。夜間もできるだけタイミングを見計らって声かけをするように努めている。 | 昼間は排泄パターンに合わせた声かけや誘導を行ってトイレでの排泄を支援している。オムツ使用の場合はトイレに座ってもらうように誘導し、トイレでの排泄を支援してパットやリハビリパンツ等の使用を検討し、排泄の自立支援を行っている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | チェック表を用いて個々の排泄確認を毎朝行い、排泄の有無に応じて個々の対応策を行うようにしている。毎日又は2～3日に1回は必ず排泄できるように対処する。食物繊維の摂取やジュース類も工夫している。 | / | / |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している | 基本的には毎日声かけを行うようにしている。拒否される時は時間をずらしたりして、試みるようにしている。1人ひとりに合わせた入浴時の対応、声かけを心がけている。 | 入浴は週3回午後に行っている。一人ひとりの生活習慣を考えて朝方に入浴の希望があれば、可能な限り実施している。利用者の状態に合わせて複数介助も実施している。嫌がる場合はタイミングをみて声かけする等、楽しく入浴できるように取り組んでいる。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している | 出来る限り日中の活動を促が し、生活のリズムを整えるよう にしているが、個々の状態を見 極めながら休息が摂れるよう にしている。夜間寝つけない時 には温かい飲み物やおしゃべり 等で対応している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状 の変化の確認に努めている | 処方箋のコピーをケースに整理 し職員が把握し確認できるよう にしている。服薬時は必ず本人 に手渡しきちんと服用するまで 確認する。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活暦や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等 の支援をしている | 得意な事で役割や楽しみが持 てるように支援を行っている。 個々にあった楽しみごとや気 晴らしになるように働きかけ を心かけている。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう に支援に努めている。また、普 段は行けないような場所でも、 本人の希望を把握し、家族や 地域の人々と協力しながら出 かけられるように支援している。 | 買い物、散歩、職員と一緒に のびのびと過ごす機会を、花 壇の手入れ、花摘み等、個々の 状況に応じて短時間でも外に でる機会を作るように努めて いる。外食の機会も作りご 家族へのお誘いも行っている。 | 日常的には近隣の散歩や買 い物・花壇の手入れをする等、 一人ひとりの希望に沿って戸 外に出るようにしている。年 間計画で民生委員や家族も同 行して花見や外食等に出かけ たり、家族との外出や外泊も ある。買い物に行きたいとの 要望があるときは、職員同行 にて実施している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>個々に応じて買い物の機会を作り出かけるようにしている。少額を所持してもらったり、買い物の際に渡したりして楽しみを持てるように支援している。</p> | | |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p> | <p>電話の取次ぎや家族・友人にかけたりする事の支援はいつでも対応するように心がけている。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>廊下はじゅうたん敷きになっていて音、安全面に配慮している。季節感を取り入れた馴染みのある作品作りを行い五感に働きかける工夫を行っている。</p> | <p>キッチンからリビングが見渡せるような環境づくりになっており、2方向からの採光と風通しがよく気持ちの良い生活空間となっている。壁には季節ごとの手作り作品や利用者の笑顔の写真が飾られている。ソファや掘りごたつのある和室等、それぞれがくつろいで過ごせる居場所となっている。</p> | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>廊下の空間にソファを置いたり、掘りごたつの場所でくつろいだりできるようにしている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>それぞれの利用者の能力や好み、生活スタイルに合わせて本人や家族の意向に合わせた工夫をしている。</p> | <p>居室はタンスと押し入れが設置されている。在宅で使い慣れたベッドやテレビ・ソファ等家具を持ち込み、位牌や写真を置いて、本人が落ち着いて過ごせるような工夫がされている。</p> | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>居室の入口に段差があり、踏みはずし防止に滑り止めマットを敷いたり、椅子を追いたりして安全性を自立に向けた支援を行っている。</p> | / | / |

V アウトカム項目

| | | | |
|----|---|---|---------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者の |
| | | | 2 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4 ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1 毎日ある |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | | 3 たまにある |
| | | | 4 ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | ○ | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1 ほぼ全ての家族と |
| | | ○ | 2 家族の2/3くらいと |
| | | | 3 家族の1/3くらいと |
| | | | 4 ほとんどできていない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1 ほぼ毎日のように |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | ○ | 3 たまに |
| | | | 4 ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | ○ | 1 大いに増えている |
| | | | 2 少しずつ増えている |
| | | | 3 あまり増えていない |
| | | | 4 全くいない |
| 66 | 職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12) | | 1 ほぼ全ての職員が |
| | | ○ | 2 職員の2/3くらいが |
| | | | 3 職員の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1 ほぼ全ての家族等が |
| | | ○ | 2 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |